

## 令和7年度 第1回 東部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月1日（木） 10時30分から12時15分まで
- 2 開催場所 東部中学校 3階会議室
- 3 出席委員 松永 新一、露木 里江子、水谷 加寿代、渡辺 雅子、森重 勝博、鈴木 謙誌
- 4 欠席委員 廣野 篤男、杉山 邦司、森田 賢児、稲葉 誠史郎
- 5 オブザーバー 神谷 匠（東部協働センター コミュニティ担当）
- 6 学 校 大城 定則（校長）、榊原 早苗（教頭）、木下 久一（主幹教諭）、中山 敬太（生徒指導主事）、池田 未来（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 池田 未来
- 10 議長の選出  
司会の榊原教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、森重委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
  - （1）令和7年度学校運営基本方針の説明
  - （2）いじめ防止等のための基本的な方針の説明
  - （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 12 会議記録  
司会から、委員総数10人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。  
  
（1）令和7年度学校運営基本方針の説明  
議長の指示により、大城校長から、資料に基づき令和7年度学校運営基本方針についての説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ 命を大切にす、自分を大切にすということについて、例年行われるキャリア講座にて、私はまず命の大切さについての話をしている。生きていく意味や楽しみ、幸せなどを伝えていきたい。その他、チーム担任制は先生方になじんでいけるのか？確認した方がよいと思う。(森重委員)
- ・ 開校 50 周年の際に同窓会組織が発足し、キャリア講座や立志式・顕彰式を行っているが、地域への発信が十分にできていない。活動の発信は必ず役に立つものであり、今後どのように発信していくか方法を検討している。(松永委員)
- ・ 生徒の命と成長を心から支援したい。縦長で校区の広い東部中だが、“学校を核とした地域づくり”ができれば素晴らしい。多様な先生方と多様な生徒たち、チーム担任制も含め一生懸命支持していくつもりである。(露木委員)
- ・ 学校内を参観したところ、掲示物が目についた。修学旅行の掲示物は下級生にも様子が伝わり、大変良い。人を喜ばせる言葉や通学路の一旦停止の啓発などもあり、大変効果的だと思った。(水谷委員)
- ・ 学校教育目標の副題「誰一人取り残さない」が印象的。発達支援教室に指導員が配置されるということで、生徒それぞれに合った活用がなされることを期待する。(渡辺委員)
- ・ チーム担任制について、受験の時期のケアをもう少ししていただきたいと昨年度の保護者からの意見があった。そういった声も聞いていただいて、今後反映していただければと思う。(鈴木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (2) いじめ防止等のための基本的な方針の説明

議長の指示により、中山生徒指導主事から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本的な方針について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・ 環境が変わり大変な時期の新人生のフォローができれば、初期のいじめや不登校が防げると思う。(森重委員)
- ・ チーム担任制により風通しがよくなった反面、情報が多い分取り違える可能性もある。校長や生徒指導主事も代わり、皆で方向性を合わせて行ってほしい。(松永委員)
- ・ 成長期の心身のバランスをとるのが難しい生徒たち。それを指導する先生方も大変だが、自分を認め他人を認め合えるようなところをうまく学んでいただきたい。(露木委員)
- ・ いじめは早期の発見が大事。チーム担任制によって生徒に多くの目を向けることができるのは大きなメリットである。先生一人一人が違う目線で見れば、生徒の異変にも気付きやすくなると感じる。(鈴木委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、榊原教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和7年11月18日(火)10時30分から当会議室で開催する旨の報告があった。